

新型コロナウイルス 感染症対策

Q 櫻井 肇 議員

新型コロナウイルス感染症が市財政に与える影響について伺う。

A 市長

新型コロナウイルス感染症経済対策における税制上の措置として、市税の徴収猶予の制度が創設され、個人市県民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税の市税について、合計1億2216万7930円、国民健康保険税が213万4700円の徴収猶予額となっている。

Q 照井明子 議員

子どもと直接的な接触を避けられない職場で、感染リスクを抱えながら、エッセンシャルワーカーとして社会機能を維持する仕事を担う方々へ、市独自の慰労金支給の考えはないか伺う。

A 市長

独自に慰労金を支給する場合、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用できるが、保育等従事者が相当数おり、多額の事業費が想定され難しい。

市では全国市長会を通じて国へ要望している。

Q 久保田彰孝 議員

新型コロナウイルス感染症に伴い飲食業や運送代行業が大変な経営難に陥っている。支援する制度を作る考えについて伺う。

A 市長

新たな事業を創設することは厳しい状況であるが、補正予算として計上している事業の執行見込みを精査したり、財政調整基金の活用等を視野に入れ、新たな事業の策定を担当部署に指示している。

国に対し持続化給付金の継続を要望していく。



コロナ禍で厳しい影響を受けている飲食店街

Q 久保田彰孝 議員

新型コロナウイルス感染症防止対策として市の施設を休館した。これによるイベント主催者への支援について伺う。

A 市長

4月上旬、施設休館に伴うイベント中止に対し、主催者が準備に要した支払い済み費用を上限20万円として支援することとした。しかし、要綱制定が11月と遅れたことは

申し訳なく思っている。関係する団体は17団体と把握しており、11月は1団体に交付決定した。

Q 櫻井 肇 議員

国民健康保険税、介護保険料および後期高齢者医療保険料の減免件数および減免額について伺う。

A 市長

国民健康保険税の減免申請件数および決定数は28件、減免額は441万3400円、介護保険料の減免申請数は17件、減免額は93万9600円、後期高齢者医療保険料の減免申請件数は9件、減免額は93万3900円。減免額は全額国の財政支援となる。制度の周知が課題である。

Q 照井省三 議員

市内の保育園・幼稚園や小中学校の児童生徒および保護者等に感染者が発生した場合の対応について伺う。

A 教育長

園児・児童生徒、教職員のいずれかの本人に感染が確認された場合、該当する園または学校における感染経路等について、保健所および学校医等と速やかに確認調査を行った上で、感染拡大を防ぐために必要とされた期間を臨時休業とするとともに、当該施設の消毒を実施することになっている。消毒に要する期間は3日程度を見込んでいる。



毎朝登園後に園児一人一人が手指消毒を徹底
(花巻幼稚園)



定期的な血圧測定で健康管理を

A 市長

本研究事業は家庭血圧計の貸し出しのほか、糖尿検診、MRI検診、口腔検診などを実施しており、住民への周知や日程、関係機関との調整など一年を通して市の役割も大きく、限られた人員での事業実施となっている。

さらに新たな地区に拡大して事業展開することは現時点で難しいと考えている。検診項目の見直しも含め、可能な範囲での拡大について大学側と協議していきたい。

Q 若柳良明 議員

この事業の評価、課題について、また対象地域拡大について伺う。

A 市長

本事業の評価は、令和2年に実施した健康づくりアンケートにおいて、「家庭血圧測定をしている」と答えた割合は市全体で35・6%に対し、大迫

リンパ浮腫治療

Q 照井明子 議員

リンパ浮腫は、発症すると治りづらく進行しやすいため、生活にも影響し適切な治療が必要である。保険適用外の治療は経済的負担となっており、安心して働き、日常生活を送れるよう治療支援の考えを伺う。

A 市長

実際にどのような支援が必要か、関係者の方々と速やかに日程を設定して、現状や課題等を聞くとともに、他市町村の状況を調査し、市としての



マイナンバーカードの普及が期待されます

支援の在り方を研究していく。

マイナンバー
カード

Q 藤井幸介 議員

国では令和5年にはマイナンバーカード所持率100%を目指すとしているが、現在の市の交付率は17・6%である。市としての今後の取り組みを伺う。

A 市長

全国民のマイナンバーカード所持の実現は、生

熱中症対策

Q 藤井幸介 議員

市内全小中学校の教室にエアコンが設置されたが、子どもたちの学習の様子や熱中症の減少などの効果の状況を伺う。

A 教育長

暑さによる体調不良を訴える生徒が減少し、授業に集中できるようになった。コロナ禍において、予防のためのマスク着用による熱中症の発生も抑えられ、真夏の開催となった体育祭では涼しい教室での休憩ができ、暑さを乗り越えられた。エアコン設置の効果は非常に大きいものがあった。